

令和 8 年度第 1 回岐阜市環境審議会 会議録

(●…委員の意見 ⇒…事務局の回答)

<報告事項(1) 令和 8 年度の環境審議会の進め方について>

(「資料 1」に基づき説明)

(質問等なし)

<報告事項(2) 岐阜市の環境施策について>

(「資料 2」に基づき説明)

- (岐阜市ゼロカーボンシティ宣言について) 環境省の取り組みとして、大気中の二酸化炭素の除去について様々な調査・研究が実施されており、2040 年の商用化を目指しているようだ。岐阜市は 2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを掲げているが、環境省の計画は加味されているか、岐阜市がどのように考えているか伺いたい。

⇒環境省などにおいて二酸化炭素の固定化に関する研究が進んでいることは把握しているが、実験段階であり、現状として、本市の二酸化炭素の削減計画には含まれていない。今後、情報収集をしながら、岐阜市で反映できることがあれば各施策に取り入れていく。

- 岐阜市ゼロカーボン市民懇談会 2.0 の参加者は、どのように選んだのか。また、1 回あたり何人くらいが参加しているか。

⇒岐阜市民 4,000 人の中から無作為抽出で、参加者 40 名を選出し、会議を開いている。会議に参加されるのは、30 名程度である。

<報告事項(3) ごみ処理有料化制度について>

(「資料 3」に基づき説明)

- 家庭系ごみに、中小企業がステーションに排出した事業系ごみが混ざっていることについては、以前も指摘した。

- ・事業系ごみと家庭系ごみ袋のデザインが異なることで、家庭系ごみと事業系ごみが各々どれくらい排出されているか調査が可能になるのではないかと思います。事業系ごみのステーション調査は、検討されているか。

- ・純粋な家庭系ごみの量がわかれば、市民がより納得して、有料化を受け入れられるのではないかと。

⇒今後、事業者への周知のため、事業系ガイドブックの配布を予定している。このガイドブックで、事業者へ周知を図りたい。

- ・事業系ごみの量の調査は、検討中のため、固まり次第、報告させていただく。

- お試しごみ袋を配布されるとのことであるが、10 月 1 日までに周知が行き届くのか。不適正排出、例えば、従来通りの半透明の袋で排出された場合はどう対応するか。

⇒お試しごみ袋は市内全世帯にポスティングするので、これまで有料化を知らなかった市民に有料化をお知らせする機会となる。

- ・10 月 1 日以降、従来通りの袋で排出された場合は、ルール違反のごみ袋と知らせるためイエローカードを貼り、数日間ステーションに残置する。通報があった場合には、地域の方と協議し、早めに回収するようにする。

●不適正排出に関して、イエローカードを貼って周知する方法もあるが、カラス被害が多い地域もあるので配慮して欲しい。他の方法も検討してもらえると有難い。

●ごみステーション維持管理等協力金は、自治会に支払われるということであり、自治会加入のメリットはここに反映させるという認識でよいのか。

⇒ごみステーション維持管理等協力金は自治会加入のメリットを感じて欲しいという思いもあるので、自治会連合会を通じて交付される。連合会により世帯数やステーションの数が異なることを踏まえ、地域の規模に応じ金額を支給する予定である。地域のごみ処理に関するもの、例えばごみボックスやごみネット、ごみ当番の謝礼としての有料指定ごみ袋など、各地域で必要なものを購入していただき、ごみステーションの維持管理に役立てて頂く。

●以前の審議会で、岐阜市はごみステーションの数が多く、見直すという話があったが、いつ見直しや結果が公表されるのか。

⇒現在、地域の実情に応じて集約をするため、各地域でワークショップを実施している。有料化開始が10月からなので、9月末を一旦の区切りとするが、有料化後に集約の話をとという地域もあるので、終わる時期も含めて地域の実情にあわせてこの先も続けていく。

・公表に関して、意見を集約している段階であり、現段階では、公表の時期は決まっていない。

●今後、ごみが減量した場合、ごみ袋の収入も減ることが予想される。各自治会のごみステーションが維持できるように、しっかり検討していただきたい。

<報告事項(4) 岐阜市生物多様性プランの改定について>

(「資料4」に基づき説明)

●熊など獣害とのバランスが難しいと思うが、岐阜市にも獣害はあるか。

⇒熊の目撃情報はあがるが、熊以外で例えば、猪などによる農作物被害は北部周辺であると聞いている。

・獣害は農林課が所管であるため、環境部ではこれ以上の情報はもっていない。

●前回計画から大きな変更点があれば教えていただきたい。

⇒国家戦略にもあるようにネイチャーポジティブを国でも実施したいと考えているので、岐阜市でも国の計画に準じてネイチャーポジティブに重点をおいている。

●ネイチャーポジティブを実施していくとのことであるが、今後、企業との連携を促すといった活動はあるか。

⇒今回の計画では、具体的な記載はしていないが、計画を進めていく中で、企業との連携も必要になってくると思う。今後、検討していきたい。

●希少種の保全や外来種対策と記載があるが、具体的にどれくらいの予算規模でどのようなことを実施する予定か。

⇒予算規模は大きくはないが、引き続き様々な取り組みをしている団体と市も一緒に活動していく。

●生物多様性の保全は、予算規模とやれることは比例しているため、生物多様性の保全をしていくな

らば予算措置をしていく必要がある。

- ・岐阜市はまだ影響が少ないが、鹿は農作物や植物を食べるので、徐々に種の構成が変化していく。鹿は好きなものから食べていくので、緑はあるが、多様性がなくなる。獣害は農林課であっても、森林の保全は環境部局なので、そうなる前に、早めの対策を講じることが重要である。ロードキルや人身被害防止の観点も視野に入れ、積極的に進める必要がある。